

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市くじ保育園	評価対象年度	平成27年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 大慈会 ・代表者名 理事長 粕賀 廣洋 ・住所 川崎市多摩区堰3-11-3	評価者	こども未来局 子育て推進部 保育課長
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日	所管課	こども未来局 子育て推進部 保育課

2. 事業実績

利用実績	・通常保育 定員 60人 / 月平均入所児童数 60人(入所率100.0%) ・延長保育 月平均 24.6人(利用率41.1%)
収支実績	・収入金額 104,098千円 (内訳:委託料 103,086千円 利用料 1,012千円) ・支出金額 100,173千円 (内訳:人件費 83,737千円 事務費 5,013千円 事業費 11,398千円 その他 25千円) ・収支差額 3,925千円
サービス向上の取組	○連絡表、保育参観、懇談会、各種園だより、保護者会への職員出席など保護者との連携がよく図られている。 ○業務の自己点検表の作成、チェック、職員会議、職員アンケート、年5回のカリキュラム会議を通して自己評価・点検を実施している。 ○行事毎のアンケートによる次回開催時への意見反映等の仕組みが適切に構築されている。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
I 事業の 積極性	(1)通常保育の実施状況	・定員を基本に、居室面積基準や職員配置基準を遵守し、児童の受入を行っているか	5	3	3
	(2)特別保育の実施状況	・指定された特別保育事業を適正に実施しているか	5	3	3
	(3)地域の子育て支援の実施状況	・地域の子育て支援のための事業を年間を通して実施しているか	5	5	5
	(4)障害児保育の実施状況	・障害児保育に際しては、適切な保育体制を確保し実施しているか	5	3	3
	(評価の理由) ○基準を遵守し、適切に通常保育及び特別保育を実施している。 ○地域住民の園行事への参加、子育てサロンへの職員派遣など、地域の子育て支援にも積極的に貢献している。 ○近隣の学校から職業体験やボランティアを受け入れるほか、合築の老人福祉施設(いこいの家)との連携など、地域における諸施設との協力関係も推進している。 ○障害児の受け入れは実績なし。				
II 収支計画・ 実績	(1)指定管理料の執行状況、収支状況	・計画に基づく適正な支出が行われているか ・効率的な執行等、経費縮減に取り組んでいる。	5	3	3
	(2)保護者負担費用の妥当性	・保護者から実費を徴収する場合、保護者の負担に配慮した金額を設定しているか。	5	3	3
	(3)適正な金銭管理・会計処理	・社会福祉法人会計基準に則った(株式会社等については、社会福祉法人会計基準に準じた)会計処理が適正に行われているか	5	3	3
	(評価の理由) ○会計処理については、指定管理事業者において概ね適正に行われている。				
III サービス向上 及び業務改 善	(1)保護者との連携、意見・要望等への対応	・保育方針、保育内容を保護者に説明しているか ・保護者の意見や要望を聞く取組を行っているか ・社会福祉法に規定する苦情解決体制を整備しているか	10	4	8
	(2)業務の自己点検とサービス向上に向けた取組	・業務の履行状況に関する自己点検を実施し、業務改善に取り組んでいるか ・保護者の満足度等を把握する取組を実施し、サービス向上に努めているか	5	4	4
	(評価の理由) ○連絡帳、保育参観、懇談会、各種園だより、保護者会の職員出席、園長との年度末面談等により保護者との連携がよく図られている。行事終了後にはアンケートを取り、意見や要望をもとに次回の実施に向けて検討と改善を行っている。 ○業務の自己点検表の作成、チェック、職員会議、職員アンケート、意見箱の設置及び検討結果の公表など、充実した取組がなされている。				

IV 組織 管理 体制	(1)適正な人員配置	・通常保育において、仕様書に基づき適正な職員体制を確保しているか	5	3	3
	(2)職員の労働条件、労働環境	・労働条件、休暇取得、ローテーションの配慮等、職員の定着化を意識した取組を行っているか ・職員の定期健康診断、雇入れ時健康診断を適正に実施しているか	5	4	4
	(3)コンプライアンス(法令遵守)、個人情報保護への取組み	・各種法令や法人としての倫理を順守し、指定管理者として健全かつ適正な運営に取り組んでいるか。	5	3	3
	(4)職員の資質向上	・職員を各種研修に派遣し、職員の資質向上に努めているか。	5	4	4
	(評価の理由) ○適正な人員配置をしている。 ○職員の労働条件改善・保持についても、法人内で合同会議を実施し、昇給制度や休暇取得の促進を図っている。 ○個人情報保護に対しては、全職員に誓約書を提出させ遵守の徹底が図られている。 ○職員研修については、多様なテーマについて年間計画を策定し、内外の研修に積極的に参加している。				
V 適 正 な 業 務 実 施	(1)保育所の運営方針、保育目標に基づく保育の実施	・運営方針、保育目標に基づく保育の実施のため、保育の計画に基づいて保育を実践しているか ・児童の最善の利益を考慮し、子どもの権利を尊重するとともに、一人一人の発達の過程等に応じた保育が行われているか	10	4	8
	(2)給食等の適切な提供	・関係法令等を遵守し、適切に給食を提供しているか ・除去食、離乳食、配慮食等は、児童の状況に応じ、適切に提供しているか ・食育の計画を作成し、実践しているか	5	4	4
	(3)安全管理の取組	・事故管理、防犯、災害時に児童の安全を確保するために必要な対策マニュアルを作成し、保護者、職員に周知しているか ・事故等の発生に備え、職員教育、施設設備の点検等を行っているか	5	4	4
	(4)衛生管理・児童の健康管理	・健康管理、衛生管理に関するマニュアルを整備し、適切に児童の健康管理を行っているか ・嘱託医と連携し、児童の健康診断等を適切に行っているか ・保護者と連携し、児童の健康状態に関する情報を共有しているか ・感染症への対応を適切に行っているか ・予防接種の推奨についての取組みを行っているか	5	3	3
	(5)施設・備品の適切な管理	・清掃や除草、設備・遊具の点検・修繕を適切に実施している ・事業に必要な備品を購入し、適正に備品を管理している	5	3	3
(評価の理由) ○保育理念や保育目標をもとにクラス毎の保育目標を設定し、保護者との信頼関係のもとに個々の児童にとって適切な保育を実施している。 ○離乳食等について年間計画を策定し適切に実施したほか、食育についても年間計画に基づき目標を持って実施されている。 ○事故防止マニュアルに基づいてチェック体制を整えており、災害時に備えた保護者との連絡体制についても整備している。 ○保健だより等で児童の健康状態を保護者に連絡するなど、連携を取りながら個々の児童の健康管理を行っている。 ○施設及び備品は適切に管理されている。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	B
-------	----	-------	---

注)評価点:100点満点。標準点60点。評価ランク:5段階評価

A:80点以上 B:70点以上80点未満 C:60点以上70点未満 D:50点以上60点未満 E:50点未満

A:特に優れている B:優れている C:適正である D:改善が必要である E:問題があり適切な措置を講じる必要がある

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

○老人いこいの家との合築である立地条件を活かし共同でイベントを実施し、近隣学校からのボランティアや実習等を積極的な受け入れを図り、また民生委員や主任児童委員を保育説明会に招くなど、地域間で緊密な連携を図りながら事業を実施している。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

○指摘事項等なし。